

丁寧に仕事をするということ

信頼を築く
ビジネスマンと
しての第一歩

作成:平山貴浩

はじめに

精密機械の プロとして

測定器の 番人として

校正を行う会社の「信頼」は、日々の小さな仕事の積み重ねから生まれます。

その土台となるのが「丁寧に仕事をすること」。

その意味と価値を、事例とともに見ていきます。

① 小さなミス
が大きな信
頼を失うこ
とがある

Key Point !

丁寧さは“信頼”を積み上げ
る土台

校正証明書の一つのミスで「信頼で
きない」と見なされることも。

細部まで正確であれば、安心感・信
頼感が増す。

確認のひと手間を惜しまないことが、トラブルを未然に防ぐ

②もう一度確認がミスを防ぐ

【例え】メール送信前の確認で、誤送信を回避

【ミス防止】添付漏れや誤字脱字も丁寧な確認で防げる

次の人への思いやりが 「プロの仕事」

③誰かの作業 を“楽にする”のが丁寧な仕事

【事例】引き継ぎの連絡が丁寧だったおかげで、佐藤さんがスムーズに対応

【補足】"誰のためにするか"を意識すると、仕事の「質」が変わる

最初に丁寧にやれば、
結果的に早い

④

雑な仕事
は“二度手
間”になり
やすい

【事例】平山の勘違い
で見積書の修正対応…
手間が倍増

【メリット】丁寧さは“
時間の節約”にもつなが
る

⑤

“誰がやつ
たか”は仕
事の空氣に
残る

【心を込める】丁寧
な仕事には、あなたの
名前が宿る

【事例】「渡辺さん
がやつたなら安心」
と言われる存在に

丁寧な仕事は、信頼
とチャンスを生む

まとめ

ヒトも 会社も **ONLY ONE** として

丁寧に仕事をすることは、誰にでもできる“最高の武器”です。

一つひとつを丁寧に積み重ねることで、信頼、評価、成長へつながります。

「未来の自分」のために、何事も丁寧に取り組んでいきましょう。